

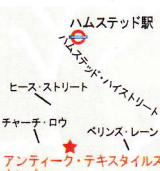
アンティークキルト

●ハムステッド (ロンドン北部)

アンティーク・テキスタイルス・カンパニー



Antique Textiles Company ※「ミスター・パートナーを見た」と言えば10~15%割引に!



① Village Mount, Perrins Court, Hampstead NW3 1QU
☎+44(0)2074 333 311
🕒火~金曜10:30~17:00、土曜10:00~18:00、日曜11:30~17:30
🌕月曜
📍地下鉄ハムステッド駅(ノーザンライン)から徒歩約2分。

<http://www.antiquetextilescompany.co.uk/>



▲ジョージアン・チェニックパッチワークキルトは200年前にノーザンバーランドで作られ、大変希少価値が高い。非売品。
◀1900年代初頭に作られた、ハンドステッチのダラムキルトは550ポンド(77,000円)。

北イングランドの伝統模様でベッドメイク 魅惑のアンティークキルトの世界

「キルトから、作り手や家族の歴史を知ることができると」
とクリスさんは、自慢げに商品を説明してくれた。

「キルトから、作り手や家族の歴史を知ることができると」とクリスさんは、自慢げに商品を説明してくれた。

「キルトから、作り手や家族の歴史を知ることができると」とクリスさんは、自慢げに商品を説明してくれた。

「キルトから、作り手や家族の歴史を知ることができると」とクリスさんは、自慢げに商品を説明してくれた。

「キルトから、作り手や家族の歴史を知ることができると」とクリスさんは、自慢げに商品を説明してくれた。

「キルトから、作り手や家族の歴史を知ることができると」とクリスさんは、自慢げに商品を説明してくれた。



1910~1920年代に、ウエディングのプレゼントのために作られたダラムキルトは500ポンド(70,000円)。



17歳のときにニューキャッスルで服を売りはじめ、生地の実しさに魅せられてキルトを集めるようになったクリスさん。



主にインターネットを使い、ひと月に15~200点のキルトを購入し、年間約6,000点も販売しているという。

◆ イギリス・キルトの歴史

パッチワークキルトの発祥は実はイギリスだった

キルトとは薄手の綿を2枚の布地で挟み、パッチワークを施したヘッドリネンやカバリングのこと。日本でも有名なアメリカンキルトやハワイアンキルトはいずれも17世紀にイギリスから伝わり、独自に発展を遂げた。イギリスでは13~14世紀頃、ヨーロッパを襲った大寒波のため、北イングランドで防寒用にキルトが作られ、のちに伝統手工芸として技法や装飾スタイルが地域ごとに発展していった。北イングランドの典型的な模様は、裏地に縞模様をあしらっており、中でもダラムキルトが有名だ。産業革命以前のものは、全てが手作業で作られたため大変高価なのだそう。

イギリス全土、アメリカから買い付けているという。在庫は500点ほどで、その他に、クリスさんのプライベートコレクションの品が200点もあるそうだ。

